

日本文芸研究ゼミナール(1)a : 中国文学(ゼミナール選抜の手引き : 学習の方法)

沼倉, 誠 / 安藤, 信廣

(出版者 / Publisher)

法政大学国文学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要

(巻 / Volume)

56

(開始ページ / Start Page)

110

(終了ページ / End Page)

110

(発行年 / Year)

1997-07-12

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00019967>

ゼミナール選抜の手引き

—学習の方法—

日本文学研究ゼミナール(1) a

中国文学

※委員 三年 沼倉 誠

このゼミは、日本文学の中で、中国文学を扱っている唯一のゼミです。そのため、卒論では中国の古代から近代にいたるまでの長い文学史の中から、興味を持ったテーマを自由に選び、研究することができます。二年間のゼミでの研究を、最終的な目標である卒論に生かすことを目的としています。

授業では、昨年取り上げた白居易の流

れを汲み、今年は「唐詩選」を用いて、初唐・盛唐の詩人を中心に研究を進めていきます。「唐詩選」は日本でも長く親しまれ、唐代の詩を研究するときの手がかりとなる重要な選集です。なお、研究に入る前に、漢文の基礎知識を簡単に復習し、作品のより深い読解を目指します。

授業の形式は、言わずと知れたゼミ形式で何人かのグループに分かれての研究発表を行い、その報告をもとに、全員で考えて意見の交換をし、作品世界の追求をしていきます。そして、それらの意見をふまえて、最後に先生にまとめていただくという形をとります。学生の積極的な姿勢が、授業をより充実したものにす

るでしょう。中国文学が日本文学に多大な影響を与えたことは、周知の事実です。中国文学は、日本文学の起源であると言ってもよ

いでしょう。言いかえれば、中国文学を学ぶことは、日本文学のルーツを知るきっかけになるでしょう。

孔子の手による「詩経」を始めとする漢詩の数々、「水滸伝」などの小説、魯迅を始めとする近代の文学などの広範囲に渡る文学世界を有することが、中国文学の一つの魅力であると言えるでしょう。

最後に、入門書・参考文献として「唐詩選」(岩波文庫)、「唐詩三百首」(平凡社)、「三体詩」(朝日選書)を挙げておきます。

担当教員 安藤 信廣 先生

日本文学研究ゼミナール(2) a

—古代万葉人とふれ合う—

委員 三年 山本 純子

私たち坂本ゼミナールでは、まず開講後数回は坂本先生による講義が行われ、